

地域密着型サービス事業所  
「あつとホーム きりん荘」の指定更新について

介護保険法により、地域密着型サービスの基準適合状況を定期的に確認するため、事業者の指定効力に6年間の期限が設けられています。また市は、指定を行うときに、関係者の意見を反映させるよう努めることとされています。

この度、当該事業所は、平成29年3月1日に指定の有効期間の満了日を迎えるため、指定更新申請がありました。つきましては「地域密着型サービスの運営に関する委員会」としてのご意見をお願いいたします。

資料

- ・指定地域密着型サービス事業所 指定地域密着型介護予防サービス事業所 指定更新申請書及び付表4
- ・事業所の自己評価及び外部評価結果  
    《独立行政法人福祉医療機構 WAMNETより》

受付番号 \_\_\_\_\_

指定地域密着型サービス事業所  
指定地域密着型介護予防サービス事業所 指定更新申請書

平成 29 年 1 月 30 日

守谷市長 あて

所在地 茨城県守谷市立沢 950-1

申請者

名 称 株式会社 ウェルビー  
代表取締役



介護保険法に規定する指定地域密着型サービス事業所・指定地域密着型介護予防サービス事業所に係る指定更新を受けたいので、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

事業所所在地市町村番号

申請者	フリガナ	カブシキガイシャ ウェルビー			
	名称	株式会社 ウェルビー			
	主たる事務所の所在地	(郵便番号 302-0118) 茨城県守谷市立沢 950-1 (ビルの名称等)			
	連絡先	電話番号	0297-20-0733	FAX番号 0297-20-0720	
	法人の種類別	株式会社	法人所轄庁		
	代表者の職名・氏名・生年月日	職名	代表取締役	フリガナ 氏名	生年月日 昭和 年 月 日
	代表者の住所	(郵便番号 ) (ビルの名称等)			
事業所	フリガナ	アットホーム キリンソウ			
	名称	あっとホーム きりん荘			
	所在地	(郵便番号 302-0118) 茨城県守谷市立沢 950-1			
	連絡先	電話番号	0297-20-0733	FAX番号 0297-20-0720	
	当該事業所の所在地以外の場所に当該事業所の一部として使用される事業所を有するとき				
	フリガナ				
	名称				
所在地	(郵便番号 - )				
連絡先	電話番号		FAX番号		
事業等の種類	認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護				
現に受けている指定の有効期間満了日	平成 29 年 3 月 1 日				
役員 の 氏 名、生年月日及び住所	別添のとおり				
誓約書	別添のとおり				
介護支援専門員の氏名及びその登録番号	別添のとおり				

備考 「受付番号」及び「事業所所在地市町村番号」欄は記入しないでください。

付表4 認知症対応型共同生活介護事業所・介護予防認知症対応型共同生活介護事業所の指定に係る記載事項

受付番号                     

事業所	フリガナ		アット ホーム キリンソウ						
	名称		あっと ホーム きりん荘						
	所在地		(郵便番号 302-0118) 茨城県守谷市立沢950-1						
	連絡先		電話番号	0297-20-0733	FAX番号	0297-20-0720			
当該事業の実施について定めてある定款・寄附行為等の条文					第1-2条第1項第⑥号				
管理者	フリガナ		(郵便番号 - )						
	氏名		住所						
	生年月日		昭和 年 月 日						
	当該事業所で兼務する他の職種(兼務の場合のみ記入)			介護職員					
	同一敷地内の他の事業所又は施設の従業者との兼務(兼務の場合のみ記入)			名称	お泊まりサービス花きりん	事業所番号	0872400296		
			兼務する職種及び勤務時間等	管理者(9時~18時のうち1時間) 生活相談員(9時~18時のうち3時間)					
共同生活住居数		1戸		①		②			
利用者数(推定数を記入)		9人		9人		人			
従業者の職種・員数				介護従業者		介護従業者		計画作成担当者	
				専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
常勤(人)				4	2				
非常勤(人)				4				1	
常勤換算後の人数(人)				7.6					
基準上の必要人数(人)									
適合の可否									
主な揭示事項	居室数		9室 (うち個室9室)		室 (うち個室 室)				
	利用定員		9人		人				
	利用料	法定代理受領分(一割負担分)		運営規程に定めるとおり					
		法定代理受領分以外		同上					
	その他の費用		同上						
協力医療機関	名称		守谷慶友病院		主な診療科名		内科・外科・整形外科・他		
	名称		我孫子中央歯科室		主な診療科名		歯科・他		
耐火構造物、準耐火構造物等の別				耐火構造物					
運営推進会議の有無				(有) 無					
添付書類		別添のとおり							

備考 1 「受付番号」「基準上の必要人数」「適合の可否」欄は、記入しないでください。  
 2 記入欄が不足する場合は、適宜欄を設けて記載するか又は別様に記載した書類を添付してください。  
 3 「協力歯科医療機関」がある場合は、「協力医療機関」欄に併せて記載してください。  
 4 当該指定地域密着型サービス以外のサービスを実施する場合には、当該指定地域密着型サービス部分とそれ以外のサービス部分の料金の状況が分かるような料金表を提出してください。

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年6月15日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872400262		
法人名	株式会社 ウェルビー		
事業所名	あっとホーム きりん荘	ユニット名	
所在地	〒302-0118 茨城県守谷市立沢950-1		
自己評価作成日	平成27年12月11日	評価結果 市町村受理日	平成28年6月20日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0872400262-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0872400262-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年2月17日	評価機関 決済日	平成28年6月15日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・きりん荘にて力を入れている点は、管理者・職員にて作成したグループホーム理念に基づいた支援です。理念項目が7つあります。</p> <p>・1つ目の喜怒哀楽な表情がある(できる)ことは人間としての生きている証です。いつまでも笑顔や笑える環境づくりを目指して日々のレクリエーションや行事に努めています。</p> <p>・2つ目は夕食の献立を入居者へ相談し買い出しや一緒に作ることで食事だけでなく調理過程も含めた食事援助に努めています。</p> <p>・3つ目は食事等、時間にとらわれずに本人のペースに合わせた生活が提供出来るよう努めています。</p> <p>・4つ目は日々の生活に施設内外の散歩を日課とし、気分転換や近隣の方達と話せる環境づくりに努めています。</p> <p>・5つ目は今までの暮らしを基に、職員の見守りや関わりを持つことでいつまでも本人の生きがいや楽しみが持てるよう努めています。</p> <p>・6つ目は認知症という病気を職員が理解し、温かい心で受け入れるよう努めています。</p> <p>・7つ目は入居者・家族との関わりを持ち、信頼関係を築けるよう日々努めています。</p> <p>また、本人がやりたい事であれば、どうすれば出来る様になるのかを常に考え、本人の力を最大限に生かし出来る様に支援しています。施設で生活をしていても、今まで過ごしてきた様に、外で畑仕事をしたり、近隣の施設へ遊びに行き地域の方と触れ合ったりまた、外に出る事で季節を肌で感じてもらえるよう努めています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者の「その人らしい生活を支援するためには何が必要か」ということを管理者と職員で話し合い、これを理念としている。</p> <p>事業所は車道に面しているが、敷地内を散歩したり畑を耕すなど、外気にふれて四季を感じる機会が多い。</p> <p>年に1回の家族会や運営推進会議、介護計画見直しの会議等に家族等も積極的に参加しており、職員と家族等との情報交換が密に出来ている。</p> <p>帳票類の記録が細かく整理されており、利用者の状況だけではなく、研修やイベント、そのほかの情報などが明確になっている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価		外部評価	
項目	自己評価	実施状況	外部評価
I 理念に基づく運営			
1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスを踏まえたものを共有し、常に意識できるところや台所や玄関に提示しているほか、定期的に職員で理念の意味を確認しながら読み上げ復唱を行っています。	法人の理念のほかに、地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を管理者と職員で話し合ったり、玄関や台所に掲示するなどの機会に、職員会議の場でも定期的に理念が現状に即しているかを職員会議等で話し合い、見直す事としている。
2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入居者と職員が近隣に散歩に行き、挨拶を交わし顔なじみの関係を築いています。また畑で収穫した野菜を近隣に配布するなど、近隣の方から野菜や菊をもらっています。また地域のクローン活動や日々の散歩にて施設周辺のゴミ拾いを行っています。	職員と利用者が散歩に出た際に、近隣住民と挨拶を交わしたり、ごみ拾いをしていく。近所の方から野菜やお花を貰ったり、事業所の畑で収穫した野菜を配るなど、地域の一人として近所付き合いをしている。自治会に加入はしていないが、市が発行する広報誌等で地域のイベント情報を得、出来る限り参加するようにしている。
3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	他部署にて毎月第3日曜日にホッとカフェを開き、家族が遊びに来られ、介護体験の話をされる。家族が遊びに来られ、介護体験の話をされる。家族が遊びに来られ、介護体験の話をされる。	運営推進会議は家族等や市職員、区長、民生委員、職員が参加して2ヶ月に1回開催している。
4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回行っています。家族委員、自治会区長、事業所職員が参加しています。その際に参加者からの提案等の内容を定例の職員へ報告し、市で開催の菊花展やひよたんたんランタン作り等への参加をしています。	運営推進会議は家族等や市職員、区長、民生委員、職員が参加して2ヶ月に1回開催している。民生委員、職員が参加して2ヶ月に1回開催している。



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

		外部評価		外部評価	
自己評価	外部評価	項目	自己評価	実施状況	実施状況
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>契約締結の際は口頭と文章でわかりやすく説明し、不安や疑問な点を確認しながら行っています。改訂にあたっては当該改訂箇所を明示し、理解が得やすいよう説明を行っています。利用者や家族の状況が変化した場合には終末期支援等を含めて説明を行い、家族の立場になって話し合いを行い、家族の理解と納得を得ています。施設を退所されたのちも協力体制を伝え、退所後の不安があれば都度問い合わせに応じる体制を整えています。</p>	<p>次ステップに向けて期待したい内容</p>
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>定期的な家族とのカンファレンス・面会時に家族から意見や要望をお聞きし必要に応じてカンファレンスや面会でのカンファレンスや面会時の記録を残すようにしています。</p>	<p>利用者からは日々の会話などから、家族等からは運営推進会議や家族会、記名式のアンケート、ケアプラン作成時のカンファレンス時などに聴き取りを行っているほか、面会の際には話し易い環境づくりに努めている。</p> <p>イベント内容の提案や個別に「化粧をさせて欲しい」などの要望があり、職員会議で検討して実行している。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		<p>定期面接(2回/年)や定例会議、親睦会を行い職員間にてコミュニケーションを図っています。その中で職員からの意見や提案を傾聴しケアの質や仕事の意欲向上につながるよう努めています。又、今年度よりサリアダー会議を開催し、情報の共有意見の反映に努め、リーダー会議を通して上司への報告を行なっています。</p>	<p>年に2回の管理者との面談や、月1回の職員会議、親睦会などで職員からの意見を汲み取るようにしている。</p> <p>サリアダー会議やリーダー会議を通してより多くの意見が出るように工夫しており、「昼休憩が1時間取れない」との意見に対し、職員配置を工夫したり30分ずつ2回に分けて取れるように改善した。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>		<p>人事考課制度を活用し目標管理を行っていきす。定期面接(2回/年)の際、目標に対する達成度、その経過(努力・実績)について考課し賃金に反映させていることから、各職員が向上心を持って仕事に取り組めるよう支援しています。また定例会議や親睦会でコミュニケーションを図る職員に努めています。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員の能力や段階に応じOJTの実践や併設事業所の協力のもとに行う内部研修、法人グループが開修する研修のほか、認知症実践者研修にも積極的に参加をしています。	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	新人職員に対し、入職後新人研修を行っています。また配属部署にて、主に介護業務やケアマネジメントを担う職員に対して、OJTまたは併設事業所の協力のほか、認知症実践者研修にも積極的に参加し、他の事業所との交流を図っています。	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けるため、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所初期にセンター方式の記入をご家族に依頼し全職員が入居者の言動・表情・仕草から思いを取り戻す。また入所時から1週間D-4シートを活用して本人の行動パターンや快・不快の理解と情報共有・安心につながる対応の検討と信頼関係づくりに努めています。	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けるため、関係づくりに努めている	入所時申し込みの面接時から傾聴の姿勢に心掛けています。担当者が中心となり面接時やカンファレンスの際に家族の意見や要望、不安を傾聴していただきます。また家族からいつでも話してもらえようという面会時等に近況報告をして現状確認をして頂き本人に含めてお話しさせて頂き、家族からの要望などは定例会議にて職員間で話し合いケアプランに反映させています。	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所相談において管理者が直接本人・家族と面接し簡易アセスメントを作成していただき、また入所初期に家族へセンター方式記入を依頼し入居者本人・家族が必要としている支援を聞きながら対応しケアプランに反映させています。	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	実施状況	外部評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人の先輩として尊敬する気持ちを忘れず、一人一人に接してお礼・感謝の言葉を伝えています。家事はみんなで分担し、食事は職員も同じテーブルで頂きます。日々の生活の中で関係性を築いています。おせち等、お祝い事、書道、華道など職員が教えて頂く機会を多く作っています。入居者それぞれ得意な分野で個性や力力の発揮が出来るよう本人の意見を活かして好きに活動しています。	家族の思い・入居者自身の以前からの暮らしを踏まえて、タテマで活用した入居者の思いを上手く伝えられます。また日常の中で代弁し家族との絆を深めるよう支援していきま			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お盆お正月に限らず自宅で過ごしたり毎週家族とお出かけする入居者の言葉や行動をお伝えし家族の協力を重要にお伝えしています。また、アセスメント表や利用した本人や家族の話し合いから入居者の生活歴や馴染みの人や場所の把握し通所介護事業所等を利用し、馴染みの方と会えるよう支援して行きます。	お盆お正月に限らず自宅で過ごしたり毎週家族とお出かけする入居者の言葉や行動をお伝えし家族の協力を重要にお伝えしています。また、アセスメント表や利用した本人や家族の話し合いから入居者の生活歴や馴染みの人や場所の把握し通所介護事業所等を利用し、馴染みの方と会えるよう支援して行きます。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	セクター方式のアセスメント表から、利用者の生活歴と馴染みの人や場所を把握するとともに、普段の言動などから利用者の希望を汲み取るように努めている。以前通っていた併設のデイサビの友人などが居室に訪ねて来たり、家族等の協力を得て自宅や美容室などに馴染みの人や場所との関係が継続出来るよう支援している。	セクター方式のアセスメント表から、利用者の生活歴と馴染みの人や場所を把握するとともに、普段の言動などから利用者の希望を汲み取るように努めている。以前通っていた併設のデイサビの友人などが居室に訪ねて来たり、家族等の協力を得て自宅や美容室などに馴染みの人や場所との関係が継続出来るよう支援している。			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう支援に努めている	入居者の性格や社交性を踏まえ外出行事の組み合わせ、食事時の席の工夫をしております。決まらずに席は無く入居者同士、交流を図りながら座席に着いていきます。職員が入居者の思いを代弁し間に入り話のきっかけを作り、お互い支え合えるよう支援しています。	入居者の性格や社交性を踏まえ外出行事の組み合わせ、食事時の席の工夫をしております。決まらずに席は無く入居者同士、交流を図りながら座席に着いていきます。職員が入居者の思いを代弁し間に入り話のきっかけを作り、お互い支え合えるよう支援しています。			
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状を出し、一周忌の際はご自宅にお線香をお焚き上げに伺っています。また施設行事へのお誘いなど声を掛けさせて頂き契約終了された後も、必要に応じて相談や支援が出来る体制を整えています。	年賀状を出し、一周忌の際はご自宅にお線香をお焚き上げに伺っています。また施設行事へのお誘いなど声を掛けさせて頂き契約終了された後も、必要に応じて相談や支援が出来る体制を整えています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービスマネジメント改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	評価	実施状況	評価
<p>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>						
23		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。 困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式を活用する事により入居者1人1人の思いや意向を理解するよう努めています。日常の関わりや会話を通して入居者がやりたいと思う事や役割を持ち行動出来るよう職員は対応しています。意思表示が難しい入居者には日々の生活の中での表情や行動から入居者の思いを受け止めて支援しています。	入居時のセンター方式のアセスメントにより、利用者の思いや意向の把握をしています。利用者毎に担当職員が決まっております。日常の関わりから、心身の変化や新たな希望等を明確にするようにしています。職員等は表情や雰囲気から思いを推し測るよう努めています。	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービスマネジメントの経過等の把握に努めている	ご家族にこれまでの本人の暮らしを聞いたりとセンター方式を記入してもらうことで情報収集をしています。また、事業所内のケアマネージャーにも情報提供を依頼しこれまでの暮らし方を把握しています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式を活用し1人1人の過ごし方で生活をサポートしています。また時間の流れに沿って心身の発露や来院やケアプランに明らかな変化があれば再アセスメントを行います。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者がよりよく過ごせる様、入居者及び家族の希望やケアプラン、職員などの意見を反映させケアプランにて評価を行います。定期ミーティングには家族にお声かけ意見や要望を伺い更新時には家族を巻きつけケアプランを作成しています。	介護計画は利用者や家族等の希望をまとめ、医師や看護師、職員等の意見を踏まえて3ヶ月毎にモニタリングを行い、6ヶ月の見直しの際はカンファレンスを開き、利用者や家族等にも参加してもらっている。日々の記録の中に、青字で記入する評価や、赤字で記入するとヒヤリバットがある事で、より良い介護計画に役立っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価		自己評価		外部評価		
項目	目	実施状況	自己評価	実施状況	期待したい内容	
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の表情や言動などを具体的に記録し情報を共有して役立てています。ケアプラン元において記録する事でプランを意識づけし、また記録に対し、プラン内容や体調変化に色分けすることで見やすくしています。記録内容を評価資料としてケアプランの見直し、作成にも活かされています。	入居者の表情や言動などを具体的に記録し情報を共有して役立てています。ケアプラン元において記録する事でプランを意識づけし、また記録に対し、プラン内容や体調変化に色分けすることで見やすくしています。記録内容を評価資料としてケアプランの見直し、作成にも活かされています。	入居者の表情や言動などを具体的に記録し情報を共有して役立てています。ケアプラン元において記録する事でプランを意識づけし、また記録に対し、プラン内容や体調変化に色分けすることで見やすくしています。記録内容を評価資料としてケアプランの見直し、作成にも活かされています。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれられるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	タナーミナルケアとなった時にも入居者、家族の要望に応じられるよう医師や看護師との連携も行っていきます。看取り時には希望があれば家族も泊まれるよう対応しています。入居者が入院し胃腸と医療体制を整え受け入れられる事が出来ました。	タナーミナルケアとなった時にも入居者、家族の要望に応じられるよう医師や看護師との連携も行っていきます。看取り時には希望があれば家族も泊まれるよう対応しています。入居者が入院し胃腸と医療体制を整え受け入れられる事が出来ました。	タナーミナルケアとなった時にも入居者、家族の要望に応じられるよう医師や看護師との連携も行っていきます。看取り時には希望があれば家族も泊まれるよう対応しています。入居者が入院し胃腸と医療体制を整え受け入れられる事が出来ました。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを築き支えている	近隣の公園へ出掛けたり、地域の託児所と交流をしたり、地域の商工祭にも参加しました。託児所との交流ではベビーカーを押して子供をあやしたり、園児と一緒に体操をしたり。また商工祭では自分で好きな物を選んでお金を払う等、入居者の持つ力を発揮できる機会を設けています。	近隣の公園へ出掛けたり、地域の託児所と交流をしたり、地域の商工祭にも参加しました。託児所との交流ではベビーカーを押して子供をあやしたり、園児と一緒に体操をしたり。また商工祭では自分で好きな物を選んでお金を払う等、入居者の持つ力を発揮できる機会を設けています。	近隣の公園へ出掛けたり、地域の託児所と交流をしたり、地域の商工祭にも参加しました。託児所との交流ではベビーカーを押して子供をあやしたり、園児と一緒に体操をしたり。また商工祭では自分で好きな物を選んでお金を払う等、入居者の持つ力を発揮できる機会を設けています。		
30	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に家族と協力医療機関をかかりつけ医にするかどうかの意向を確認しています。協力医療機関では、月に1回の訪問診療及び体調不良の臨時診療を受けられ家族の意向や希望により相談のうえ訪問歯科を依頼するなど対応を行っています。	契約時に家族と協力医療機関をかかりつけ医にするかどうかの意向を確認しています。協力医療機関では、月に1回の訪問診療及び体調不良の臨時診療を受けられ家族の意向や希望により相談のうえ訪問歯科を依頼するなど対応を行っています。	契約時に家族と協力医療機関をかかりつけ医にするかどうかの意向を確認しています。協力医療機関では、月に1回の訪問診療及び体調不良の臨時診療を受けられ家族の意向や希望により相談のうえ訪問歯科を依頼するなど対応を行っています。	契約時に利用者や家族等に、かかりつけ医で受診を継続するか、協力医療機関に変更するか選択出来ることを説明している。月1回の協力医療機関の医師による訪問診療があるほか、体調不良時は併設事業所の看護師による対応も可能である。受診結果は看護記録に残し、家族等に報告している。	
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	施設内の看護師が、毎日の申し送りに参加し入居者の体調管理や些細な異常にも早期発見、早期対応出来るように努めています。カンファレンスに参加し家族の不安に對して分かり易い病状説明や適切なケア、受診の対応をしています。	施設内の看護師が、毎日の申し送りに参加し入居者の体調管理や些細な異常にも早期発見、早期対応出来るように努めています。カンファレンスに参加し家族の不安に對して分かり易い病状説明や適切なケア、受診の対応をしています。	施設内の看護師が、毎日の申し送りに参加し入居者の体調管理や些細な異常にも早期発見、早期対応出来るように努めています。カンファレンスに参加し家族の不安に對して分かり易い病状説明や適切なケア、受診の対応をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき、また、できるだけ早期に退院できるように、病院内関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院内関係者との関係づくりを行っている。	家族の希望を聞きながら病院との連携を図り、早期に退院出来る様に積極的に働きかけ職員や顔なじみの入居者がお見舞いに行き安心して治療が出来る様にしていきます。退院前には職・看護士が家族と共に医師による治療経過、注意事項の説明を受け職員間で周知し受け入れ体制を整えています。また協力病院からの担当医の往診時にも入院中の経過や情報交換も円滑に行えるようにしています。	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共に取り組んでいる。	入居者の状況に応じてその都度家族や医師・看護師・職員で話し合いながら対応していく方針で看取り介護方針に基づいての説明や同意書を用意しています。またマニユアルを活用した職員の知識向上に努め全職員が理解した上で取組み家族の理解と協力を得て、最期まで入居者が安心して暮らす環境をつくったりや苦痛を軽減できるように努めます。	契約時に利用者と家族等に事業所の看取りに関する指針を説明し、依頼や同意を written 面にて得ることも、状況の変化に心して何度も意思を確認するようにしている。重度化した場合は、その都度家族等や医師、看護師、職員で話し合いながら対応しており、最期は家族等が泊まり込むこともある。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応を学ぶように定期的に施設内研修を行っています。またヒヤリハットや事故防止のために委員会を話し合っています。急変時の対応の際も委員会中心となつて定期的な施設内研修を行います。アラームはフロア内に提示し急変時や必要の際に見られるようにしています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	事業所内の防災委員が主とし、消防署の指導のもと年2回避難訓練の実施を行っています。濃煙体験や消火訓練が出来るよう自治会や近隣住民へのパンフレットを作成し参加を呼びかけます。災害時に近隣への協力体制を築くよう避難訓練を実施しています。また水害・震災にも連絡体制のマニユアルを作成し、職員の安否確認・状況把握に努めています。	事業所内の防災委員が主となり、併設の事業所で合同で、夜間想定を含めて年に2回避難訓練を実施している。食堂の緊急通報装置の横に職員の連絡先が掲示されており、緊急時には一斉に連絡が取れるようにしている。水やお米、おむつ等を備蓄し、チェックリストを作成して定期的に確認をしておき、併設の事業所を含めて施設全体で補えるようになっている。地域住民に避難訓練のお知らせを配布しているが、参加には至っていない。	運営推進会議の予定を に避難訓練の予定を 伝え、区長や民生委 員の協力を仰ぎ、地 域住民が避難訓練に 参加出来る事を期待 する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	評価	実施状況	評価
IV		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	事業所の年間研修計画に組み入れて継続的に権利擁護の研修をしています。認知症の人の心理的学習をもとにBPSDの誘引とならぬよう声かけや環境に配慮しています。特に排泄では強引な誘導は避け入居者の自尊心を傷つけないようミーティングなどで検討しています。個人情報に関する書類は鍵のかかる場所に保管しています。	事業所の年間研修計画の中の、権利擁護等の研修に職員は参加しており、一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの保護に努めるとともに、認知症の心理的理解の学習も事業所内研修に含まれており、これをもとに言葉かけに配慮している。排泄の誘導では、自尊心を傷つけないような最善策を職員会議などで話し合っている。契約時に個人情報に関する書類を明記した書類に、家族等から同意を得ている。書類は、事務室の鍵の掛る書棚で管理している。		次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は入居者の言動や表情から思いを組み取り伝えたい事を理解するよう努めています。職員の思い込みで決定するのではなく、選択出来るものは本人に選んでほしい何かがあるのを見守る等自己決定を促す働きかけを積極的にしています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよう過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や就寝時間は1人1人の生活リズムに合わせて対応しています。朝食も一斉ではなく入居者のペースに合わせて提供しています。レクやアクティビティにおいても必ず全員が同じ事を行うのではなく本人が好むもの、長年親しんでいたものを個々に楽しめるように支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入所時に、訪問美容室を利用するかあるいは今ままで利用していた美容院・理髪店を利用するか家族と本人に意向の確認をしています。長年馴染んだ美容院や理髪店を知っているのでもっときれいな髪形やこだわりの所をお勧めしています。また、行事・外出時には化粧を促しおしゃれ心を忘れたい支援をしています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	自己評価		外部評価	
	実施状況	評価	実施状況	評価
40	<p>調理・配膳・片付けまで各入居者が出来る事を役割として怪我、転倒等の危険に配慮しながら定期的に行っています。入居者の好みを反映し定期的に外食、鉄板焼き、鍋、おやつ作りなどを職員・入居者が一緒に食卓を囲むことで食事を楽しめる環境に努めています。</p>	<p>食事・水分摂取量の状態を全職員が把握出来る様にチェック表を活用しています。水分不足にならない様好みの飲み物やゼリーや果物の提供も月1回1週間のカロリー計算してもらい指導を受けないが栄養面で偏りがないようにしています。また提供のタイムミンダグや食器も一人一人の習慣や好みに合わせています。</p>	<p>食事・水分摂取量の状態を全職員が把握出来る様にチェック表を活用しています。水分不足にならない様好みの飲み物やゼリーや果物の提供も月1回1週間のカロリー計算してもらい指導を受けないが栄養面で偏りがないようにしています。また提供のタイムミンダグや食器も一人一人の習慣や好みに合わせています。</p>	<p>食事・水分摂取量の状態を全職員が把握出来る様にチェック表を活用しています。水分不足にならない様好みの飲み物やゼリーや果物の提供も月1回1週間のカロリー計算してもらい指導を受けないが栄養面で偏りがないようにしています。また提供のタイムミンダグや食器も一人一人の習慣や好みに合わせています。</p>
41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に合わせた支援をしている</p>	<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>
42	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>
43	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価		外部評価		外部評価	
自己評価	外部評価	項目	自己評価	実施状況	実施状況
41		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる		実施状況	実施状況
45	17	○入浴を楽しみることができている 一人ひとりの希望やタイミミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている		実施状況	実施状況
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している		実施状況	実施状況
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている		実施状況	実施状況
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々の生活を送るよう、一人ひとりの生活や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている		実施状況	実施状況

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	評価	実施状況	評価	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に ついで、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かけるよう に支援している。	天気の良い日には施設外の散歩を職員と一緒に行っています。また週に1回程度は近くの公園までドライブに出かけています。行事では初詣やお花見、外食を しています。その際には、家族への協力の 依頼をし、入居者様全員が参加出来るよう 努めています。	天気の良い日には、職員と一緒に近所を 散歩することが日課になっており、週1回 程度は近隣の公園までドライブに行ってい る。 行事として初詣やお花見、外食に出かける ほか、遠方の法事などに出かける際に、家 族等の希望で職員が同行する場合もある。			次のステップに向けて 期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しておおり、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使い易いように支援して いる。	定期的に入居者様と一緒に食材の買い出し に行き、その際に入居者様にお金を渡しレ ジでの支払いをお願いしています。また初 詣等の行事でも、お賽銭を職員と一緒に投 げお祈りし、お守りや大判焼き等、好きな 物を選んで頂き、購入できるよう努めてい ます。				
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ららが電 話をしたり、手紙のやり取りがで きるように支援をしている	入居者様へ年賀状を送っています。その際入 居者様へ家族に年賀状を送る事を伝え、年賀状 の文章と一緒に考えます。また氏名等お願 いし記入してもらいます。また家族等 から手紙や届け物がある際には、本人から電 話がでるよう支援しています。電話中は椅子 に座り、ゆっくりと話ができるようにしてい ます。				
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居 間、台所、食堂、浴室、トイレや混 等）が、利用者にとつて不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、色、 温度など）がないよう に配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるよう な工夫をしている	食卓から居間にかけての共有空間は季節感を感じ られるように心がけています。食堂には外出 時や行事の時の写真や掲載しご家族が面会に 来た際には冬に炬燵をつくり思 いには過ごせざる環境づくりに努めています。廊下 には天窓があります。手摺りも設置してあるの で行訓練など移動がスムーズに行えるよう に努めています。	居間兼食堂は陽が良く入り、掃き出し窓から 直接畑に出られるなど、季節を感じられる空間 になっている。 季節毎に雛飾りや七夕飾りがあったり、イベ ントの際の写真が飾られて、会話の種になっ ている。 冬には畳のスペースに炬燵が出され、利用 者の屋裏の場所になっており、ゆっくり寛げる 間になっている。 壁伝いに手摺が設置されているため、歩行訓 練に利用したり、移動時に安心できるつくりと なっている。			



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

		外部評価		
自己評価	項目	自己評価	実施状況	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>実施状況</p> <p>リビングでは入居者同士で好きな場所での談話や食事を楽しんでいます。TV前にはソファを設置しており、好きな番組やビデオ（昔の歌謡曲）をゆつくり鑑賞できるようにしています。またリビングの隣りには和室がありうたた寝をされたり和室の縁に腰をかけた入居者同士で談笑したり思い思いに過ごされています。</p>	<p>実施状況</p> <p>居室にはエアコンやクローゼット、カーテンが備え付けられている。利用者は算笥やテーブルセット、位牌、家族写真等思い出の物品を持ち込むことで、居でき、自宅に似ているような雰囲気の中で、居心地良く暮らせるよう工夫をしている。</p>	<p>次のステップに向けて期待したい内容</p>
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使われたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>実施状況</p> <p>入居者の以前の暮らし環境に近づける為家族の理解と協力を得て空間づくりをしています。居室には思い出し深い品々や家族の写真、仏壇、テレビ等が配置されています。他には使い慣れたベッドや椅子、タンスを持ちこまれば居心地の良い環境となっています。家族や孫の写真などを見えやすい場所に飾る等、心安らぐ居室になっています。</p>	<p>実施状況</p> <p>居室にはエアコンやクローゼット、カーテンが備え付けられている。利用者は算笥やテーブルセット、位牌、家族写真等思い出の物品を持ち込むことで、居でき、自宅に似ているような雰囲気の中で、居心地良く暮らせるよう工夫をしている。</p>	<p>次のステップに向けて期待したい内容</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかるところ」を活かして、安全かつできるだけに工夫した生活が送れるように工夫している</p>	<p>実施状況</p> <p>セーター方式Dカーペットを活用して入居者様とのことを把握しケガ防止に包丁を使用する際は都度声をかけ注意を促しています。また一人で歩けるようにフロア代わりの使用し、たたき部屋を開けておくことで歩行に疲れに気づきやすいようにして安全な環境づくりに努めています。</p>	<p>実施状況</p> <p>居室にはエアコンやクローゼット、カーテンが備え付けられている。利用者は算笥やテーブルセット、位牌、家族写真等思い出の物品を持ち込むことで、居でき、自宅に似ているような雰囲気の中で、居心地良く暮らせるよう工夫をしている。</p>	<p>次のステップに向けて期待したい内容</p>

V アウトカム項目	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)
	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者や職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)
	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)
	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)
	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p><input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまたま 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p><input type="radio"/> 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p><input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見ても、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p><input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見ても、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p><input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 あつとホーム きりん荘

作成日 平成28年6月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	施設避難訓練のお知らせを配布しているが、地域住民の参加には至っていない。	災害時を想定し、避難訓練等において地域との協力体制を整備していく。	地域住民の避難訓練参加を促すことが出来るよう、運営推進会議等において訓練の実施予定を伝え、区長や民生委員の方々に協力を仰いでいく。	12カ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。